

医療生協の介護

誰もがいつでも必要かつ十分な介護が受けられることや、安全で安心して利用できる質の高い介護が求められています。

介護サービスの現場では、利用者本人の意思や要望の表明が困難な場合も多く、すれ違いが発生しやすい状況にあります。社会保障には本来なじまない営利企業の介護への参入もかなり進んできています。この「医療生協の介護」は、このような状況の中で、全国の医療生協が介護の運動と事業をすすめるうえでの基本的な指針とします。

I. 「医療生協の介護」の目標

1. 誰もが自分らしい生き方を

- 元気な高齢期をめざし、介護予防、認知症予防など、健康づくりをすすめます。
- 老いても障害があっても自分らしい生き方ができるように自らの生活設計を考えます。
- なじみの関わりを大事にした支えあいを広げ、地域の介護力を高めます。

2. いのちと人権を尊重する介護

- 必要な情報の提供と納得のできる説明を受け、自己決定とプライバシーを尊重する介護を受けることができます。
- 自分らしさが大切にされ、生活を継続する介護を受けることができます。
- 介護を通してともに成長し、苦楽を共感しあう介護をすすめます。

3. 安全・安心の質の高い介護

- 利用者参加の評価活動など、内部・外部評価を取り入れ、介護の質の向上を進めます。
- 介護の意見や苦情を大切に、組合員・利用者とともに地域に開かれた運営をします。

4. 介護を受ける権利を守り発展させる運動

- いつでも必要かつ十分な介護を受ける権利を、守り発展させる運動を協同してすすめます。

II. 「医療生協の介護」に必要な5つの視点

1. 医療生協活動の歴史を受け継いで
2. 「保健・医療・福祉のネットワーク」と「明るいまちづくり」
3. いつまでも人間らしくにこだわって
4. 協同で取り組む介護の質の向上と職員の力量向上
5. 適切な介護サービスを受ける運動づくり